

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 6-2-1	事務事業名 青少年育成地域活動の支援	所管部課 子育て支援部 児童青少年課
----------------	-----------------------	--------------------------

施策コード 創2-1	施策名 子ども参加の促進	施策目標 さまざまな場面において子どもの権利が尊重され、子どもたちが主体的に参画して育つことのできる環境を整えていきます。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	概ね小学生から18歳未満の青少年の健全育成を進めるにあたって、青少年が社会の一員としての自覚を持ち行動するいわゆる「自立性と社会性」の育成が重要課題となっている。こうした視点に立って、地域における青少年の社会参加や社会貢献活動、青少年健全育成に携わる人々の資質向上を目的に行う活動、青少年健全育成活動の普及等を目的とした活動等を支援し、地域における活動の充実化・定着化を図っていくこと。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 小学校区ごとに組織された19団体を対象に1団体237,500円を上限として、また育成会合同行事の歩け歩け実行委員会やミュージックパーティ実行委員会に190,000円を上限として事業量に応じて補助金を交付している。事業の内容や進め方の判断は各育成会が行い、青少年を主体とする環境浄化活動やあいさつ運動、まつりなどの各種イベントの実施、地域での自主的な防犯活動等の実施のほか、市で実施する事業へも協力(防犯パトロール)してもらっている。また、毎年度隔月実施で、育成会連絡会(全体会)を開催して、情報交換と情報共有の場を設けており、その会議へ参加している。	
事業開始時期	合併前 年度 実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		5,131	5,131	5,240	4,890
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	2,566	669	750
地方債	千円	0	0	0	0
その他(施設使用料)		0	0	113	0
一般財源		5,131	2,565	4,458	4,140
所要人員(B)	人	0.06	0.13	0.13	0.13
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	485	1,061	1,001	1,070
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	5,616	6,192	6,241	5,960
単位当たりコスト(E)=(D)/(団体数)	千円	296	326	328	314

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 団体数	実績値 団体	19	19	19	19
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 事業数	目標値				
	実績値	97	95	100	
二 参加者数	目標値				
	実績値	31,367	28,529	29,188	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 歩け歩け及びミュージックパーティの事業数と参加者数は実績値に含めていない。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	育成会からは「喜ぶ子どもの顔を見ると頑張って良かった、地域の方や中学生達と共に関わることができて良かった」との声がある。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 下 青少年健全育成地域活動支援補助金は26市全市でその活動を支援している。26市の1団体平均補助実績額は292,983円であり、当市の上限補助金額は26市平均よりも低い水準となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 特になし

事業コード 6-2-1	事務事業名 青少年育成地域活動の支援	所管部課 子育て支援部 児童青少年課
----------------	--------------------	-----------------------

施策コード 創2-1	施策名 子ども参加の促進	施策目標 さまざまな場面において子どもの権利が尊重され、子どもたちが主体的に参画して育つことのできる環境を整えていきます。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>育成会によって事業数や内容が異なるが、地域ごとに特色を持って事業の展開を図っている。地域間連携の疎遠化が進んでいる現在、児童を巻き込む犯罪が増加傾向にあることから、地域と家庭、学校、児童館が互いに協力し合い、地域ぐるみで子どもを育成する「心の東京革命推進活動」を行うなど、地域を中心とした青少年健全育成活動は非常に重要であり、引き続き実施していく必要がある。</p>	
	事業の 必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の 妥当性	2	<input type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの 相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の 適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の 適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの 把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>小学校区ごとに組織された育成会により青少年を主体とする環境浄化活動やあいさつ運動等の各種イベントを実施しており、成果を上げている。 また、育成会連絡会を隔月で実施して情報交換にも努めているが、地域により活動状況にバラツキが見られる。 全体の底上げを図るため、充実した活動が行えるよう支援に努めるべきであるが、補助金の活用状況については、しっかりとしたチェックを今後も続けられたい。 今後さらに効果のある活動を進めるため、庁内他部署の事業や、他の団体・運動との連携、特に学校との連携を図っていく必要がある。</p>	
	事業の 必要性	2	<input type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の 妥当性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの 相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の 適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の 適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの 把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、小学校区ごとに地域住民で組織された青少年の健全育成のために活動する団体である育成会に対し、青少年の健全育成のための事業の経費の一部を助成するものであり、毎年約100事業に多くの児童生徒等が参加しており、育成会の役割は大きなものとなっている。</p> <p>青少年の非行防止や社会参加等の取組みを地域で支える仕組みは、今後更にその必要性が高まることから、各団体の取組みをより充実させ、団体間の連携強化を図るための支援が必要となることから、補助金がより効果的に活用されるよう、継続的な検証に努める必要がある。</p>